

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝の朝礼で声に出し、読み上げている。その人らしい暮らしが出来るように取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍であった為、交流は減っている。散歩に出た折の挨拶。地域の美容師の施設でのカット。イベントへの参加等にとどまっている。	夏祭りを知っている者には、残念である。敬老会も家族を招待してもらって楽しんだ。感染対策をしっかりと早くコロナ前の状態になる事を期待している。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ここ3年程は書面での報告になっており、直接に意見は聞けていない。	対面して話し合っていく方向でお願いしたい。今後も感染に注意して対面で行く事を続けて欲しい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前より、今の方が色々と相談に乗って頂いたり、報告したりと連携が取れていると思う。	役場(行政)の方には、地域で暮らす者の話を聞き、助けて欲しい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止・虐待防止委員会を設置しており、度々勉強会やオンラインによる研修にも参加している。玄関の施錠は夜間のみとしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設開設当初より取り組んでおり、職員の意識も上がっている様に思う。このまま継続して欲しい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記同様委員会を設置している。スピーチロックが問題となり、取り組んできた。皆の中に意識付けられてきている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	まだまだ改善する点も多くあるようだが、委員会や勉強会、研修への参加等行い、「やってはいけない」と強く意識付けられる様に継続して欲しい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一度外部から講師に来て頂き勉強会を開いたが、しばらく出来ていない。また学習する機会を持つと思う。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	相手側の理解を得、納得できるように説明出来ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	意見箱を設置しているが、意見は入っていない。運営推進会議報告書をお送りするも、一方的になっており、意見はあまり聞かれない。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の難しさもあったと思うが、今後は対面の機会を多く持ち、互いに意見や思いを言える場面を多く持っていける様をお願いしたい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	普段からのコミュニケーション、会議、年に二回の個別面談などで、意見や思いを聞いている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	処遇改善の所得や、有給休暇の実施等、改善された点は多くある。やりがいは個々の思いや考えもあるが、勤続年数10年以上の職員も多く居る。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員の定職率も高く、有給休暇の取得も多いとのこと。無駄な残業等もおこなっておらず、働きやすい環境を整備している様に思う。今後も継続を！。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	オンライン研修への参加、発表。施設内での勉強会等。学ぶ機会を設けている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年に二回の面談を行っており、職員の思いや希望を聞いている。またオンラインを使用した研修も多く参加させており、仕事への意欲を高めていると思う。このまま継続して欲しい
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外部の事業所との交流は、管理者のみが行っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	「できること」は行って頂き、時には教えて頂く。洗濯・料理等、共に行う事もある。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	面会が出来るようになった。手紙や電話での交流は続いている。全ての方には出来ていないが、故郷訪問等も行っている。	支援してもらっている。コロナ禍で会えなかったせいか、家族の事が解らなくなっており、会うとつらくなる。しかし顔を見たい、様子を見たいと思う。これから機会を増やしていきたい。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常会話の中から、暮らし方の希望を把握し、職員間で共有している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の意見を聞いても「特に無い」と言われ、職員が考えたプランになる。その為、利用者中心と言うより、職員から見たプランになる時がある。	家族からいえば、一番近くにいるスタッフを頼りに思う。無責任に言っているのではなく、信用しているから言っている。スタッフの聞き方の問題もあるので、勉強しないとイケない。	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	信頼をしてもらっている事は良い事だが、利用者や家族の思いを聞き取ると言う事は、大切な事である。聞く・汲み取るという技術の習得に努めて行って欲しい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の記録は介護記録用紙に記入している。職員個々の技量もあるが、その時の状態を伝えられる様に努めている。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後、記録様式も変化していくとのことだが、実践内容や気付き等を記入し、情報の共有・介護計画の見直しなどを行っていけるように努めて欲しい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院後の洗濯物を取りに行ったり、本来なら行っていなかったことも、家族の状態や本人の希望等により、柔軟に対応している。	親が入院した時に色々な必要物品を持って来てもらって助かった。家族が動けない時に代わってやってもらえることはありがたい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍となり、ボランティア等も呼ばなくなった。消防署の協力のもと避難訓練等は行っている。近くの美容師さんがカットにも来て下さっている。	移動販売を取り入れたらどうだろうか？(コロナとの相談だが)ボランティアの導入なども考えたら良いと思う。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓓ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に希望された病院を主治医として、受診時には同席し情報を提供している。連携に努めている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時に付き添い施設での生活の情報を伝えている。入院中も地域連携室からの連絡があり、退院に向けて、協力・支援している。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者と医療は切り離せない。退院時カンファへの参加も行っておるようで、関係作りに努めていると思う。継続して欲しい。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に看取りに関する指針を話している。看取りになれば、ご家族・主治医・訪問看護師などと話し合いを行い支援に取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	住み慣れたグループホームで看取りを希望される方も増えているらしい。本人家族等と話し合い、希望に添えた最期を迎える様に支援していくことが大事と思う。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍になり、救命救急の訓練を行っていない。近いうちに行えたらと思う。マニュアルは作成している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害時の訓練は定期的に行っており、マニュアルも作成している。昨年は地域の方と災害時の避難等について勉強会を催したが、実践を行えるようにしていきたい。	想定外の災害は難しい。出来ることをやってもらえればよい。自分の命も大切に出来ることをやって欲しい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段より、訓練を行い、非常時の動きを身に付ける事で、咄嗟の時に動けるようになる。繰り返し行って欲しい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者、一人一人に合った声掛けや接し方に努めている。特に排泄の声掛けなどは、気を付けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スピーチロックにも繋がる事であり、気を付けて声掛けしている。出来ていない時もあるようだが、人格の尊重と言う点からも気を付けて行って欲しい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ある程度の決まり事はあるが、その方の意思を確認しながら、日常生活を送って頂いている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、一緒に食事はとっていない。料理や台拭き等は声掛けして行ってもらっている。誕生日や行事には好みの物を聞き、取り入れる様にしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	料理レクやおやつ作り等も一緒に行っており、食事が楽しみになるように支援している。そういう機会が今後も増える事を期待する。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士が作った献立の元食事を提供している。水分は1000cc/日を目標に声掛けし提供している。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、声掛け・誘導し口腔ケアを行っている。出来ない方はその方に合った介助を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアの重要性を理解し、支援している。拒否される方もいるようだが、工夫して口腔内の清潔保持に努めていって欲しい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を記入し、個々の排泄パターンを把握している。本人の意思を尊重し、出来る限りトイレでの排泄を支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誰もがオムツの中ではなく、トイレでの排泄を望んでいると思う。出来る限りの支援をしており、訴え時には誘導を行っている。大変な業務であるが継続して欲しい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	無理強いはずに行っているが、本人の希望の時間帯ではないと思う。職員の業務の流れで行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人によっては、日中も臥床される方もいる。反対に体調が悪くても休まれない方も居る。夜間も明かりや温度・湿度に気を付けて休んで頂ける様に支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の薬効や副作用等を把握して、服薬支援をしている。投与する時も名前や時間帯などを読み上げて投与している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤投薬を防ぐために声を出して名前などを読み上げているとのこと。また薬による状態変化についても情報提供をしており、治療や服薬調整にも協力している。継続していく様に！
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や嗜好などを伺うが、解らない事も多い。出来ていたことが認知症の進行と共に出来なくなることもある。今出来る事、やりたいことを出来るように、支援している。	親の趣味や嗜好は解らないことも多い。歌が好きだったことも入所してわかった。生活の中から出来ることをさせて欲しい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為に、現在は施設近辺の散歩やドライブにとどまっている。「故郷訪問」と称して希望の所に行くこともあるがドライブのみ。	ドライブや散歩は継続を。コロナの状況によるが、外食や外出を行い。水族館などにも連れて行って、楽しみを感じて欲しい。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少額持っている方はいる。以前は買い物レクなどを行っていたが、今は欲しい物は家族や職員が買ってきている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があれば、電話をかけている。手紙を頂く方もいる。携帯を持っている方もおり、自由に電話をしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	バリアフリーにし、手摺も設置している。季節に合った壁画を作成したり、ソファや畳空間も設けている。歩行時に怪我などの無いように、不要な物は置かない様に心がけている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安全面、清潔面等考慮している。また季節に応じた壁画の作成も一緒にしており、楽しみの一つになっている。個別の関りは大変だが、一人一人のこだわりや、希望等も生かされたらもっと素晴らしくなると思う。頑張っている。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言動や表情から意向を汲み取り、出来る限り本人らしい生活が送れるように努めているが、本人の満足度は解らない。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	情報は参考にしますが、家族や知人との交流も難しい状態で本人の満足できる支援を受けているかは不明。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期受診は勿論、気になる事があれば医師に相談している。水分量などについても注意を払っており、健康面などは十分に気を付けている。		B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診はほぼ職員が行っている。施設内に看護師がおり、介護職との連携も出来ており、日々健康面には気を付けている。環境も担当職員が注意しており、入所者は安心して暮らしていると思う。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	声掛けは行うが、無理強いはしていない。選択肢もあり、ご自分のペースで生活して頂いている。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭で使用されていた物を基本持ってきて頂いている。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アルバム・筆筒・仏壇等を持参している方も居り、ほぼ出来ていると思う。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為の為、外出先などには制限がある。家族と外食の希望がある方もいるが、残念ながら出来ていない。	コロナ落ち着けば、外出・外泊は行っても、その際は感染等について家族に責任を持ってもらうようにしたら良いのでは。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の程度、身体能力等、それぞれであり、個々に合った手伝いやレクリエーション等を行っている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	レクの合間にも昔の事や、好きな物の話などを振ってみる。その時は生き生きとした表情で話される方が多い。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生き生きと過ごせると言う事は安心して暮らせるためにも大切である。生き生きとした言葉や行動が多く出る様に努めて行って欲しい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	コロナ禍の為、施設外に出る事は少ない。あっても挨拶を交わす程度。故郷訪問等は行うが、あまり交流はしていない。	コロナの終息を待たないといけないのかもしれないが、コロナが終息すればこのような事をしたい、あそこに行きたい等、前向きに考えていく。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面などは、十分に安心できているが、コロナ禍の為、地域との交流などが少ない。施設内ではレクや行事を行う事で楽しんで暮らして頂く様に努めている。	家族として安心している。家に居る時は怒るばかりで、本人も家族も大変だった。安心して暮らして欲しい。	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況を見て、地域の方々との交流も持って欲しい。職員は入居者様に安心して、楽しく暮らして欲しいと努めている。今後も継続する。